

長崎大学 リレー講座2019

2020からの
日本を考える

ひらこう 未来のページ

2020の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、経済企業、AI、ロボット、社会・国際関係など様々な分野で大きく変わっていくだろう日本。この先どうなるか、一緒に考えてみませんか。

定員
500名

定員になり次第、締め切らせていただきます。

受講料
3,000円

(全講座分)
※高校生以下、長崎大学生は無料
下記お問い合わせ先にご連絡ください。

▶ **申込期限9/20(金)まで**

お申込み 事前申込制

お申込みはホームページから
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>
または下記お問い合わせ先から



お申込みいただいた方に受講料の振込方法をご案内し、振込確認後に受講カードを郵送します。

お問い合わせ先/
長崎大学広報戦略本部TEL.095-819-2007
(受付時間/平日10:00~17:00)

【開催期間】2019.10.11(金) ▶ 12.19(木)

4人の講師情報は裏面へ >>>

会場:長崎大学中部講堂 文教キャンパス 長崎市文教町1-14



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



長崎新聞社



18Bank 十八銀行

主催○長崎大学/共催○長崎新聞社、十八銀行/後援○長崎県、長崎市、長崎市教育委員会、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎商工会議所、(一社)長崎青年会議所、長崎都市経営戦略推進会議、長崎経済研究所

第1回

2019
10/11 (金)

株式会社hapi-robot 代表取締役社長
ハウステンボス株式会社 取締役 CTO

富田 直美



AI、ロボット、IoTを
社会に活かす

ハウステンボスにおけるロボットの立役者でもあり、米国企業11社の経営をしてきた富田が、豊富な経験を基に、人とロボットが補い合うロボット社会の可能性と、E-Trinity(自己・自然摂理・環境経済)による幸福世界の実現を目指していく方法について講演します。

PROFILE◎

1948年生まれ。外資系IT企業の日本法人社長など11社の経営に携わる。2016年にハピロボを立ち上げ、ハウステンボス取締役CTOとしてHISグループのロボット事業全般を統括。“富田考力塾”を全国展開。

第2回

2019
10/23 (水)

メモリードグループ 代表
長崎商工会議所 副会頭

吉田 茂規



“ながさき”からの挑戦
～夢は無敵大～

長崎の誇りである歴史と文化、そして平和。新たな都市の“価値”の創出へ向けた「取組み」。また長崎の産業・都市基盤整備へ向けた「選ばれるまちづくり」「夢のある住みたい・住み続けたいまちづくり」の構築。変革を恐れず、“仕組みと仕掛けづくり”のための確固たるビジョンづくりに向けた挑戦。

PROFILE◎

昭和18年、北九州市出身。福岡大学経済学部卒業。友人らと始めた貸衣業を経て、昭和44年に(株)長崎冠婚葬祭互助センター(現社名:(株)メモリード)を設立。現在、グループ年商546億円。趣味は登山。

第3回

2019
11/22 (金)

フジテレビ上席解説委員

平井 文夫



国際社会でどう生きるか？
報道現場で学んだ事

フジテレビで32年間、記者として取材してきました。海外では革命や動乱、国内では政権交代や事件事故に接しました。我々はいかに国際社会でどう生きていけばよいのか。答えはたぶん歴史を学び異なる文化を尊敬することです。我々の素晴らしい未来について皆さんとお話したいと思えます。

PROFILE◎

長崎市出身59歳。立命館大卒業後フジテレビ入社。ワシントン特派員、首相官邸キャップ、編集長、政治部長。「新報道2001」コメンテーター。日本記者クラブ企画委員。ネットで辛口コラム連載中。

第4回

2019
12/19 (木)

筑波大学体育系教授
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与

真田 久



東京2020後のオリンピック・ムーブメント

東京オリンピック・パラリンピックは1964年に続き二度目である。両者に共通のビジョンとして、復興、次世代への継承、おもてなし、そして平和があげられる。さらに東京2020大会のビジョンに「多様性と調和」がある。これらをキーワードに今後のオリンピック・ムーブメントと社会を読み解く。

PROFILE◎

1955年12月東京生まれ。1982年筑波大学大学院体育研究科修了、福岡教育大学教員。1996年筑波大学に転任し2008年より現職。博士(人間科学)。IOCオリンピック研究センター助成研究選考委員。